

厚木住生活基本計画改定に関する意向調査について

意向調査の名称	住環境・住宅政策に関する市民アンケート調査
調査の目的	厚木市住生活基本計画改定に当たり、市民の住宅に関するニーズやまちづくりに関する意向及び評価を把握するため
調査の方法	アンケート選択形式による回答（郵送）
調査対象者	性別、年齢及び居住地区ごとの構成比をもとに、無作為で抽出した18歳以上の市民（2,000人）
実施期間	令和4年6月2日（木）から6月20日（月）まで
回答者数と回収率	705件（回収率35.3%）
担当課	住宅課
結果公開日	令和4年10月5日（水）
調査項目	1. 回答者の状況 2. 住まいの状況 3. 住まいの意向 4. 住宅施策に対する評価
調査結果の概要	別添のとおり

住環境・住宅政策に関する市民アンケート調査

本計画を策定するに当たり、市民の住宅に関するニーズやまちづくりに関する意向及び評価を把握するため、アンケート調査を実施しました。

1 調査概要

実施時期	令和4（2022）年6月2日～20日
実施方法	1 全体の調査対象数 2,000件 2 無作為抽出の手順 (1)日本国籍市民と外国籍市民の調査対象件数については、構成比をもとに日本国籍市民1,932人、外国籍市民68人とした。 (2)18歳以上の市民の性別、年齢及び居住地区ごとの構成比をもとに、居住地区別の調査対象人数を決定した。 (3)一世帯一人とする。
有効回収数	705件（回収率35.3%）

2 調査結果の見方（集計・分析にあたっての留意点）

- 集計の母数は、有効回収数（705件）とし、「n」と表記します。なお、条件付設問においては、項目名に「〇〇の場合」と表記したうえで、当該設問に回答すべき該当数を母数nとします。
- 選択肢の語句が長い場合、視認性等に配慮し、本文やグラフ等で省略した表現を用いる場合があります。（例：サービス付き高齢者向け住宅⇒サ高住、など。）
- 図表に表記する割合（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答割合の合計が100%とならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合（項目名に「複数回答」と表記。）、回答割合の合計は100%を超えることがあります。

3 回答者の状況

(1) 地区別配布・回収数

各地域における配布数や回収数、回収率及び回収数の構成比は次のとおりです。回収率をみると、「森の里地区」が61.8%と最も高く、続いて、「厚木北地区」が44.5%となっています。

地区名	町丁目	配布数	回収数	回収率	回収数の構成比
厚木北	松枝1～2丁目、元町、東町、寿町1～3丁目、水引1～2丁目、厚木町、中町1～4丁目、栄町1～2丁目、田村町、厚木、吾妻町	209	93	44.5%	13.2%
厚木南	幸町、泉町、旭町1～5丁目、南町	98	36	36.7%	5.1%
依知北	上依知、猿ヶ島、山際、下川入	157	54	34.4%	7.7%
依知南	関口、中依知、下依知、下依知1～3丁目、金田	113	45	39.8%	6.4%
睦合北	棚沢、三田南1～3丁目、三田、三田1～3丁目	90	30	33.3%	4.3%
睦合南	妻田南1～2丁目、妻田東1～3丁目、妻田西1～3丁目、妻田北1～4丁目	173	51	29.5%	7.2%
睦合西	及川1～2丁目、及川、林1～5丁目、王子1丁目	81	27	33.3%	3.8%
荻野	みはる野1～2丁目、まつかげ台、上荻野、中荻野、下荻野、鳶尾1～5丁目	216	76	35.2%	10.8%
小鮎	飯山、飯山南1～5丁目、上古沢、下古沢、宮の里1～4丁目	123	43	35.0%	6.1%
南毛利	戸室1～5丁目、恩名1～5丁目、恩名、愛名、温水西1～2丁目、温水、長谷、毛利台1～3丁目	331	119	36.0%	16.9%
南毛利南	船子、愛甲、愛甲1～4丁目、愛甲東1～3丁目、愛甲西1～3丁目	97	35	36.1%	5.0%
玉川	七沢、小野、岡津古久	28	10	35.7%	1.4%
相川	岡田1～5丁目、岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼	122	36	29.5%	5.1%
緑ヶ丘	王子2～3丁目、緑ヶ丘1～5丁目	39	13	33.3%	1.8%
森の里	森の里若宮、森の里青山、森の里1～5丁目	55	34	61.8%	4.8%
外国人(地区区分なし)		68	把握不可		
無回答		—	3	—	0.4%
総計		2,000	705	35.3%	100.0%

(2) 年齢層別配布・回収数

各年齢層における配布数や回収数、回収率及び回収数の構成比は下表のとおりで、年齢が高くなるほど回収率や回収数の構成比が高くなる傾向となっています。

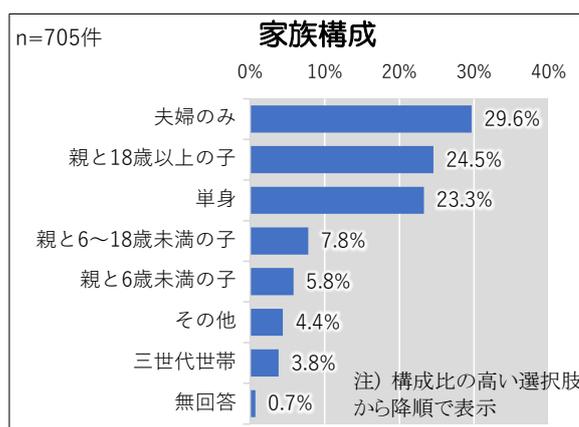
なお、住宅や住環境、施策に対する評価は年齢層によって異なる可能性があるため、本節における分析では、必要に応じて、39歳以下（10・20代及び30代の合計）、40～59歳（40代及び50代の合計）、60歳以上（60代以上の合計）の3つの年代に分けて示すこととします。

年齢層	配布数	回収数	回収率	回収数の構成比
10・20代	311	48	15.4%	6.8%
30代	268	65	24.3%	9.2%
40代	356	100	28.1%	14.2%
50代	344	129	37.5%	18.3%
60代	253	117	46.2%	16.6%
70代	296	155	52.4%	22.0%
80代以上	172	89	51.7%	12.6%
無回答	-	2	-	0.3%
総計	2,000	705	35.3%	100.0%

(3) 家族構成

「夫婦のみ」が29.6%で最も高く、続いて、「親と18歳以上の子」が24.5%、「単身」が23.3%となっています。

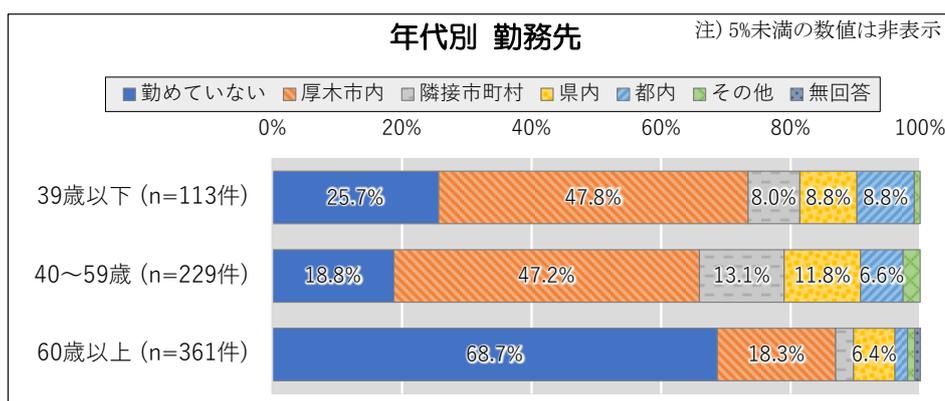
子育て世帯（18歳未満の子のいる世帯）及び三世帯世帯は、合わせて17.4%となっています。



(4) 勤務先

年代別にみると、39歳以下及び40～59歳の半数弱は勤務先が「厚木市内」となっているほか、「隣接市町村」や「県内」、「都内」などの回答もみられます。

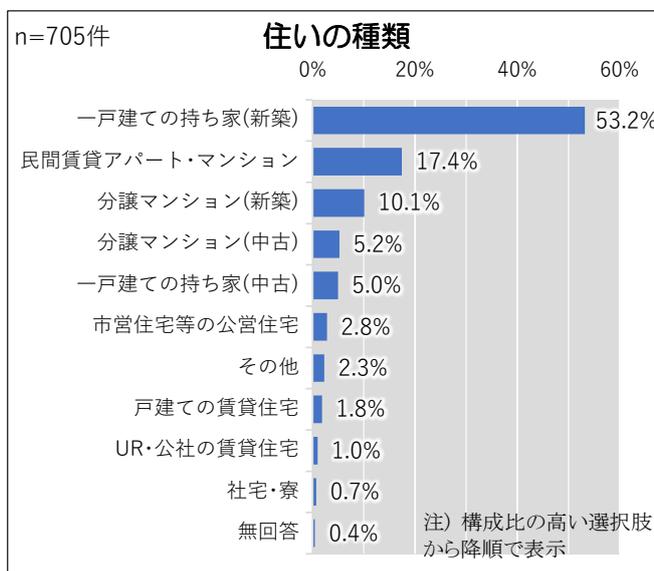
なお、「勤めていない」については、40～59歳（18.8%）よりも39歳以下（25.7%）の方が、高くなっており、39歳以下の回答者については、18歳から20歳代前半の学生の方が回答者であるなどの可能性が考えられます。



4 住まいの状況

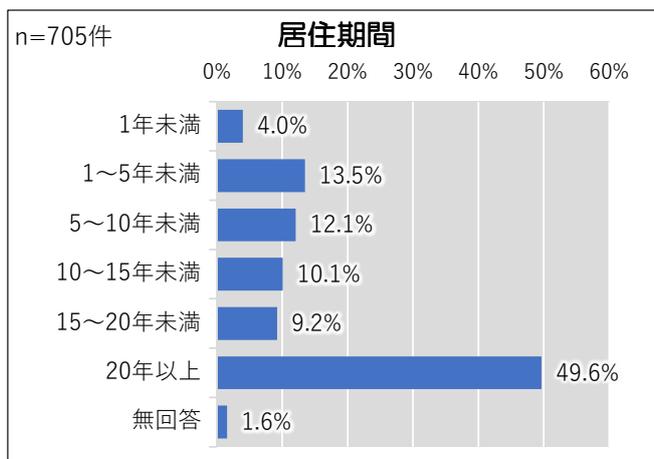
(1) 住まいの種類

「一戸建ての持ち家(新築)」が53.2%と高くなっています。続いて、「民間賃貸アパート・マンション」が17.4%、「分譲マンション(新築)」が10.1%、「分譲マンション(中古)」が5.2%となっています。



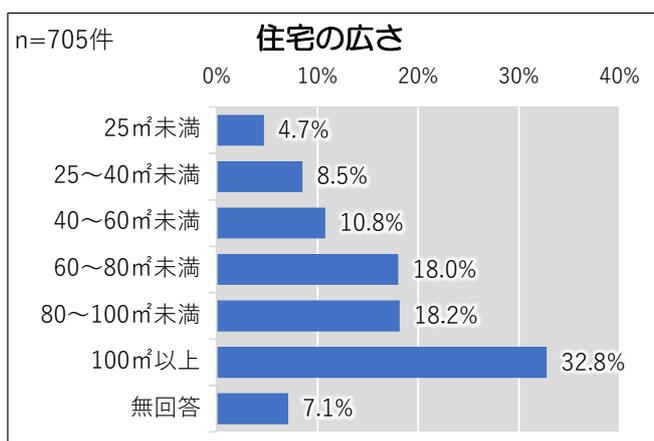
(2) 居住期間

「20年以上」が49.6%と、高くなっています。続いて、「1~5年未満」が13.5%、「5~10年未満」が12.1%となっています。



(3) 住宅の広さ

「100㎡以上」が32.8%で最も高く、続いて、「80~100㎡未満」が18.2%、「60~80㎡未満」が18.0%となっています。



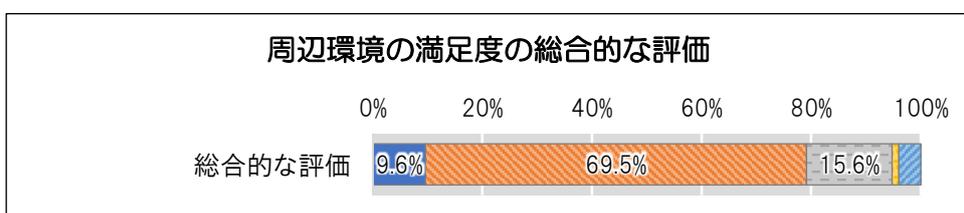
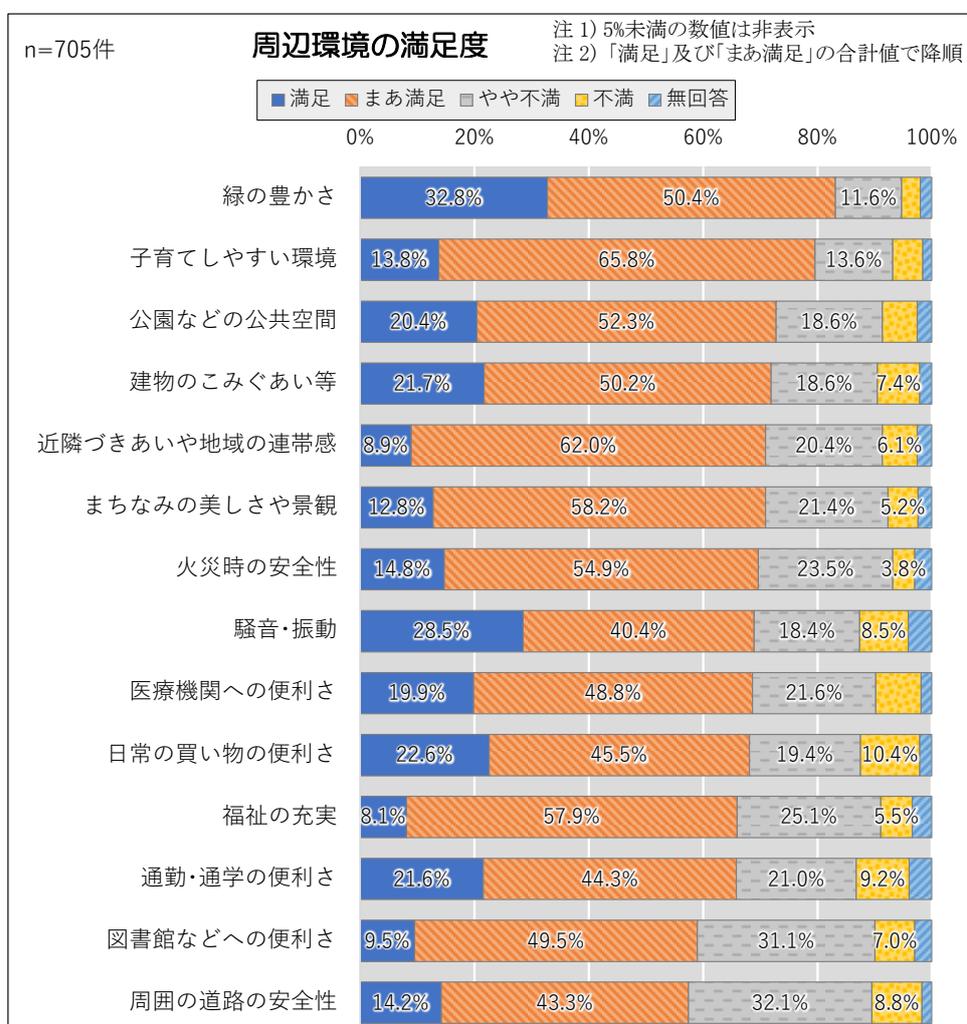
5 住まいの意向

(1) 現在の住まいの周辺環境の満足度

現在の住まいの周辺環境についての満足度については、「満足」及び「まあ満足」の合計値に着目すると、総合的な評価では、79.1%となっています。

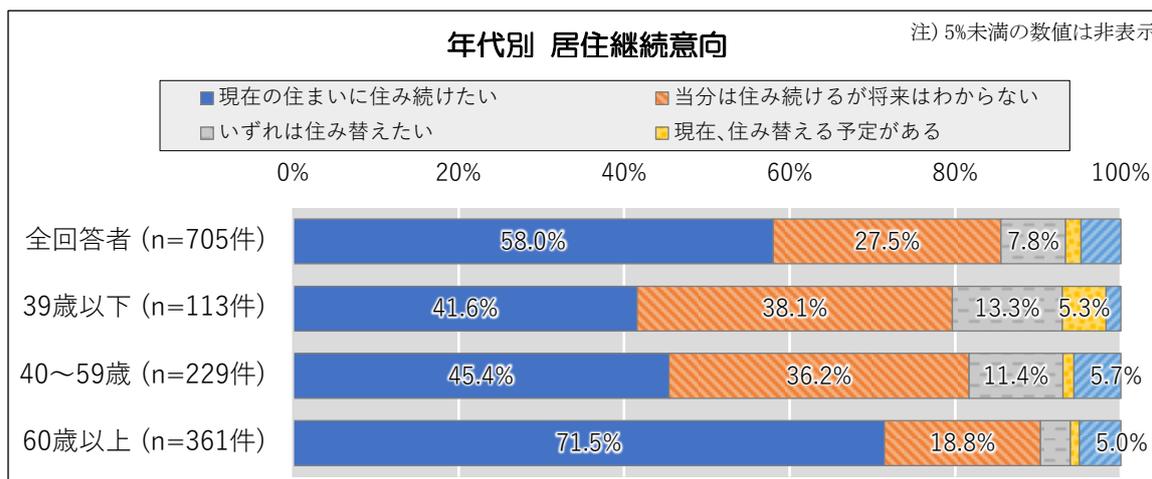
また、項目別では、「緑の豊かさ」が83.2%で最も高く評価されており、続いて、「子育てしやすい環境」が79.6%となっています。

なお、最も満足度が低いのは「周囲の道路の安全性」で、57.5%であるのに対し、「やや不満」及び「不満」の合計値は40.9%となっています。緑や自然、子育て環境に関する満足度が高い一方で、利便性や安全性に関する満足度が相対的に低くなっています。



(2) 居住継続意向

居住継続意向については、全回答者の回答では、「現在の住まいに住み続けたい」が58.0%で最も高く、続いて、「当分は住み続けるが将来はわからない」が27.5%となっており、合わせて85.5%が、当面の期間における居住継続を望んでいます。居住継続意向を年代別にみると、年代が低くなるにつれて居住継続意向が低く（住み替え意向が高く）なっています。



(3) 住み続けたい理由で重視すること 複数回答

（「現在の住まいに住み続けたい」と回答した場合）

「現在の住まいに住み続けたい」と回答した場合において住み続けたい理由で重視することとして、全回答者の回答では、「買い物の便」が41.1%で最も高く、続いて、「道路・交通網」が38.1%、「家族・親戚や知人等」が31.8%となっています。

また、年代別にみると、次のような傾向がみられます。

39歳以下：「職場・学校の近さ」が31.9%、「子育て環境」が23.4%、「子どもの教育環境」が10.6%と、他年代よりも特に高くなっています。一方、「自然環境、まちなみ景観」については、12.8%と、他の年代よりも大幅に低くなっています。

40～59歳：「買い物の便」及び「道路・交通網」を重視する傾向が特に強く（それぞれ50.0%、51.9%）なっています。

60歳以上：「治安、安心」が35.3%、「自然環境、まちなみ景観」が30.2%と、他の年代よりもやや高くなっています。

年代別 住み続けたい理由で重視すること

（「現在の住まいに住み続けたい」と回答した場合）

	全回答者 (n=409)	39歳以下 (n=47)	40～59歳 (n=104)	60歳以上 (n=258)
買い物の便	41.1%	36.2%	50.0%	38.4%
道路・交通網	38.1%	42.6%	51.9%	31.8%
家族・親戚や知人等	31.8%	36.2%	29.8%	31.8%
治安、安心	30.1%	19.1%	22.1%	35.3%
自然環境、まちなみ景観	27.6%	12.8%	27.9%	30.2%
職場・学校の近さ	13.7%	31.9%	21.2%	7.4%
医療・福祉・介護サービス	12.0%	14.9%	8.7%	12.8%
災害対策	8.1%	6.4%	4.8%	9.7%
地域コミュニティ	7.3%	0.0%	4.8%	9.7%
環境、資源	6.1%	0.0%	2.9%	8.5%
子育て環境	7.1%	23.4%	5.8%	4.7%
その他	6.1%	10.6%	4.8%	5.8%
市のイメージ	5.1%	4.3%	4.8%	5.4%
不動産価格や家賃	3.2%	6.4%	4.8%	1.9%
祭り・イベント	2.2%	4.3%	2.9%	1.6%
在宅勤務のしやすさ	3.4%	12.8%	5.8%	0.8%
地域活動の環境	2.2%	0.0%	0.0%	3.5%
子どもの教育環境	2.0%	10.6%	1.9%	0.4%
健康・生涯学習の環境	2.2%	0.0%	2.9%	2.3%
文化活動の環境	1.7%	0.0%	1.0%	2.3%
伝統芸能・歴史等	0.7%	0.0%	0.0%	1.2%
無回答	3.9%	2.1%	1.0%	5.4%

注1) 全回答者による構成比の高い選択肢から降順で表示

注2) 選択肢を3つ以上回答した場合は「無効」とし、無回答として集計

(4) 住み替え先を選ぶ際に重視すること 複数回答

(「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合)

「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合において、住み替え先を選ぶ際に重視することとして、全回答者の回答では、「買い物の便」が55.0%で最も高く、続いて、「道路・交通網」が45.4%、「治安、安心」が37.0%となっています。

また、年代別にみると、次のような傾向がみられます。

39歳以下：「職場・学校の近さ」(26.6%)や「子育て環境」(15.6%)等は他の年代よりも高くなっており、また、「不動産価格や家賃」(23.4%)や「家族・親戚や知人等」(14.1%)もやや高い様子がうかがわれます。その一方、「医療・福祉・介護サービス」が9.4%と、他の年代よりも大幅に低くなっています。

40～59歳：全回答者の傾向とおおむね同様となっています。

60歳以上：「医療・福祉・介護サービス」が54.1%と特に高いほか、「自然環境、まちなみ景観」(28.2%)や「家族・親戚や知人等」(15.3%)についても、他の年代よりも高くなっています。

年代別 住み替え先を選ぶ際に重視すること

(「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合)

	全回答者 (n=262)	39歳以下 (n=64)	40～59歳 (n=112)	60歳以上 (n=85)
買い物の便	55.0%	50.0%	56.3%	56.5%
道路・交通網	45.4%	62.5%	50.9%	24.7%
治安、安心	37.0%	43.8%	42.0%	25.9%
医療・福祉・介護サービス	30.5%	9.4%	25.0%	54.1%
災害対策	19.8%	20.3%	17.0%	23.5%
自然環境、まちなみ景観	17.6%	4.7%	16.1%	28.2%
不動産価格や家賃	19.1%	23.4%	22.3%	11.8%
職場・学校の近さ	13.4%	26.6%	14.3%	2.4%
家族・親戚や知人等	11.5%	14.1%	7.1%	15.3%
子育て環境	6.1%	15.6%	5.4%	0.0%
その他	4.2%	4.7%	4.5%	3.5%
市のイメージ	2.7%	1.6%	3.6%	2.4%
地域コミュニティ	2.7%	1.6%	1.8%	4.7%
子どもの教育環境	2.7%	6.3%	2.7%	0.0%
文化活動の環境	1.9%	1.6%	0.9%	3.5%
健康・生涯学習の環境	1.5%	0.0%	0.0%	4.7%
在宅勤務のしやすさ	2.3%	1.6%	3.6%	1.2%
地域活動の環境	1.5%	0.0%	0.0%	4.7%
祭り・イベント	2.3%	1.6%	3.6%	1.2%
環境、資源	1.9%	1.6%	2.7%	1.2%
伝統芸能・歴史等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.9%	0.0%	1.8%	3.5%

注1) 全回答者による構成比の高い選択肢から降順で表示

注2) 選択肢を3つ以上回答した場合は「無効」とし、無回答として集計

(5) 住み替え先の住宅の種類の希望 （「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合）

「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合において、希望する住み替え先の住宅の種類として、全回答者の回答では、「一戸建ての持ち家(新築)」が23.3%で最も高く、続いて、「民間賃貸アパート・マンション」が22.9%、「分譲マンション(中古)」が12.2%となっています。

年代別の特徴として、39歳以下では「民間賃貸アパート・マンション」が39.1%と、他年代より突出して高くなっており、また、年齢層が高くなると「分譲マンション(中古)」が比較的高くなっています。

年代別 希望住み替え先の種類 （「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合）

	全回答者 (n=262)	39歳以下 (n=64)	40～59歳 (n=112)	60歳以上 (n=85)
一戸建ての持ち家(新築)	23.3%	28.1%	22.3%	20.0%
民間賃貸アパート・マンション	22.9%	39.1%	26.8%	5.9%
分譲マンション(中古)	12.2%	6.3%	12.5%	16.5%
その他	10.3%	3.1%	9.8%	16.5%
一戸建ての持ち家(中古)	9.2%	6.3%	10.7%	9.4%
分譲マンション(新築)	8.0%	9.4%	7.1%	8.2%
市営住宅等の公営住宅	6.5%	0.0%	7.1%	10.6%
戸建ての賃貸住宅	3.8%	3.1%	3.6%	4.7%
UR・公社の賃貸住宅	1.1%	1.6%	0.0%	2.4%
無回答	2.7%	3.1%	0.0%	5.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

注) 全回答者による構成比の高い選択肢から降順で表示

(6) 住み替え先の地域の希望 （「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合）

「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合において、希望する住み替え先の地域として、全回答者の回答では、「特に考えていない」が34.4%で最も高く、続いて、「厚木市内」が27.1%、「県内」が18.7%となっています。なお、「厚木市内」と「今の住まいの近く」を合わせると、計35.1%となっています。

年代別にみると、39歳以下では、「厚木市内」(23.4%)や「今の住まいの近く」(3.1%)が、他の年代と比較して低くなっています。

年代別 希望住み替え先の地域 （「現在の住まいに住み続けたい」以外を回答した場合）

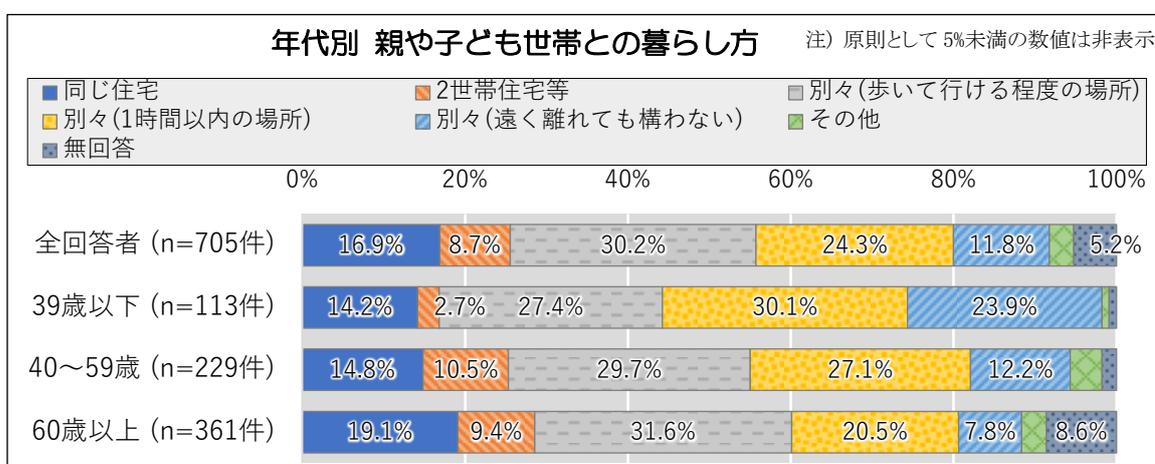
	全回答者 (n=262)	39歳以下 (n=64)	40～59歳 (n=112)	60歳以上 (n=85)
特に考えていない	34.4%	39.1%	34.8%	29.4%
厚木市内	27.1%	23.4%	27.7%	29.4%
県内	18.7%	25.0%	17.9%	15.3%
今の住まいの近く	8.0%	3.1%	7.1%	12.9%
その他、他県	5.0%	4.7%	7.1%	2.4%
無回答	3.1%	3.1%	1.8%	4.7%
その他、都内	1.1%	0.0%	0.9%	2.4%
東京都23区	2.7%	1.6%	2.7%	3.5%

注) 全回答者による構成比の高い選択肢から降順で表示

(7) 親や子ども世帯との暮らし方

全回答者の回答では、「別々(歩いて行ける程度の場所)」が 30.2%で最も高く、続いて、「別々(1時間以内の場所)」が 24.3%、「同じ住宅」が 16.9%となっています。年代別でみると、40～59歳と60歳以上ではおおむね同様の傾向となっている一方で、39歳以下については、主に次の点で傾向が異なります。

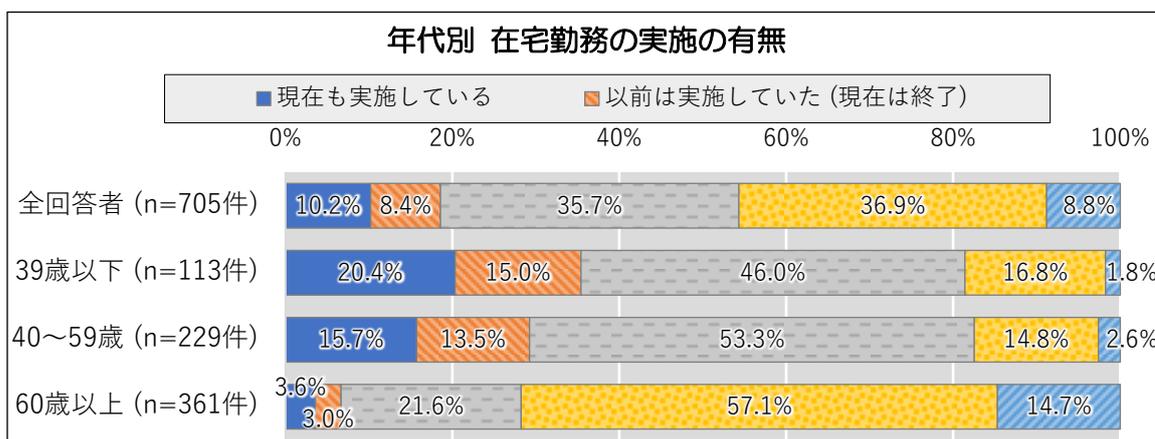
- ・「同じ住宅」の回答は 14.2%と低く、また、「2世帯住宅等」についてはわずか 2.7%と、他の年代よりも特に低くなっており、両者の合計値（16.9%）は、他の年代の約半数となっています。
- ・「別々(1時間以内の場所)」が 30.1%と比較的高く、更には、「別々(遠く離れても構わない)」は 23.9%と、他の年代よりも2～3倍程度となっています。



(8) 在宅勤務の実施有無

「(在宅勤務を)実施していない」が 35.7%、「現在も実施している」が 10.2%、「以前は実施していた(現在は終了)」が 8.4%となっています。

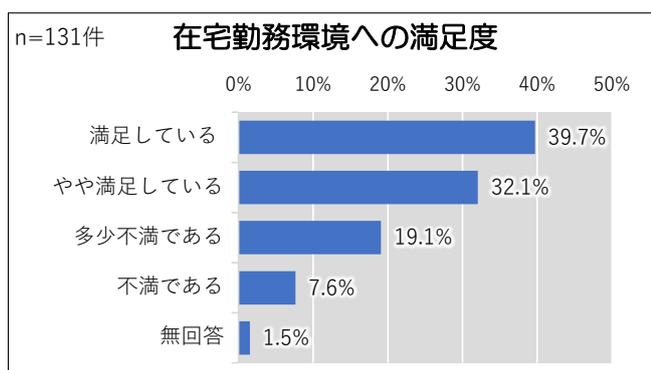
年代別でみると、39歳以下や40～59歳においても「実施していない」が半数前後を占め、実施経験のある割合は30～35%程度となっています。



(9) 在宅勤務環境への満足度 (在宅勤務の実施経験がある場合)

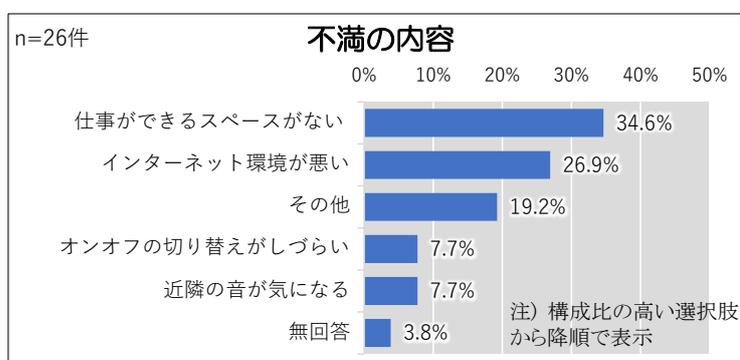
「満足している」が39.7%、「やや満足している」が32.1%を占めており、合わせて71.8%が満足しています。

その一方、「多少不満である」及び「不満である」が、合わせて26.7%となっています。



(10) 不満の内容 (在宅勤務環境に不満がある場合)

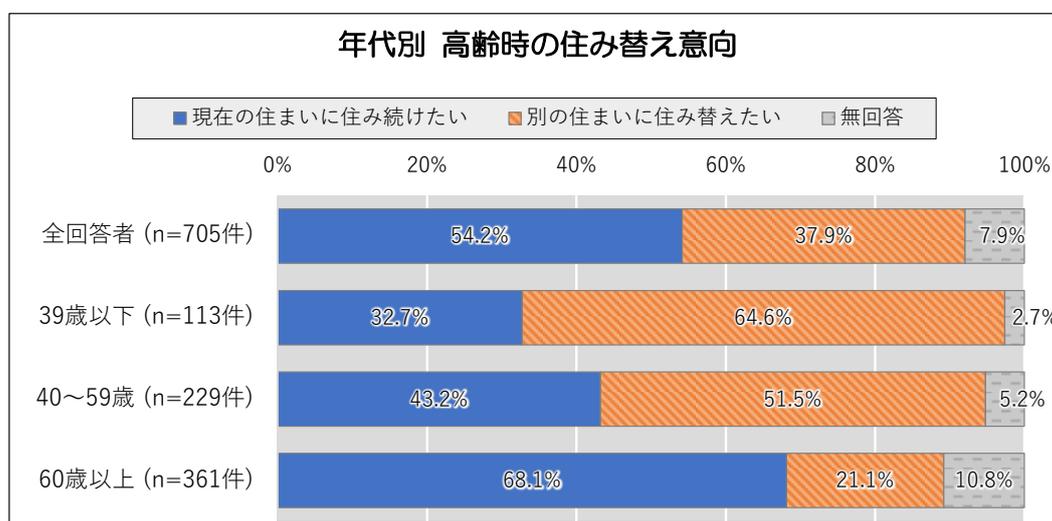
不満の内容として、「仕事ができるスペースがない」が34.6%で最も高く、「インターネット環境が悪い」が26.9%となっています。



(11) 高齢時の住み替え意向

全回答者のうち54.2%が「現在の住まいに住み続けたい」と回答しています。

ただし、年代別にみると、若くなるにつれて居住継続意向が低くなっており、39歳以下では32.7%、40～59歳では43.2%に低下する一方、「別の住まいに住み替えたい」が50～65%程度を占めています。



(12) 高齢時の住み替え先の住宅の種類 (高齢時に住み替えを希望する場合)

高齢時に住み替えを希望する場合、住み替え先の住宅の種類として、全回答者の回答では、「サービス付き高齢者向け住宅」が19.1%で最も高く、続いて、「一戸建ての持ち家(新築)」が15.7%、「分譲マンション(中古)」が13.1%となっています。

また、年代別にみると、次のような傾向がみられます。

39歳以下：「一戸建ての持ち家(新築)」が23.3%で最も高く、続いて「民間賃貸アパート・マンション」が17.8%となっており、これら2項目については、他の年代よりも2倍程度高くなっています。その一方、「分譲マンション(中古)」は9.6%と、他の年代よりも低くなっています。

40～59歳：全体的に、全回答者の回答と同様の傾向となっていますが、「一戸建ての持ち家(中古)」については、11.0%と、やや高くなっています。

60歳以上：「分譲マンション(中古)」(17.1%)、「高齢者施設」(14.5%)、「市営住宅等の公営住宅」(9.2%)が他の年代よりも高くなっています。

年代別 高齢時の住み替え先の種類の希望

(「別の住まいに住み替えたい」を回答した場合)

	全回答者 (n=267)	39歳以下 (n=73)	40～59歳 (n=118)	60歳以上 (n=76)
サービス付き高齢者向け住宅	19.1%	17.8%	18.6%	21.1%
一戸建ての持ち家(新築)	15.7%	23.3%	12.7%	13.2%
分譲マンション(中古)	13.1%	9.6%	12.7%	17.1%
民間賃貸アパート・マンション	10.9%	17.8%	11.0%	3.9%
高齢者施設	7.9%	2.7%	6.8%	14.5%
一戸建ての持ち家(中古)	7.5%	5.5%	11.0%	3.9%
市営住宅等の公営住宅	7.1%	2.7%	8.5%	9.2%
分譲マンション(新築)	6.4%	8.2%	5.1%	6.6%
その他	5.6%	4.1%	7.6%	3.9%
無回答	3.0%	0.0%	0.0%	5.3%
UR・会社の賃貸住宅	1.9%	1.4%	2.5%	1.3%
戸建ての賃貸住宅	1.9%	4.1%	1.7%	0.0%

注) 全回答者による構成比の高い選択肢から降順で表示

(13) 高齢時に希望する暮らし方

全回答者の回答では、「自分だけで、または自分と配偶者だけで暮らしたい」が45.0%で最も高く、続いて、「子ども世帯の近くに暮らしたい」が19.9%、「気の合う友人や仲間と一緒に助け合いながら暮らしたい」が13.2%で続いています。

年代別にみると、39歳以下及び40～59歳以下では「自分だけで、または自分と配偶者だけで暮らしたい」が約半数を占めていますが、60歳以上では37.7%と相対的に低い一方で、「子ども世帯と同居して暮らしたい」が16.9%と、他の年代よりも高くなっています。

年代別 高齢時に希望する暮らし方

	全回答者 (n=705)	39歳以下 (n=113)	40～59歳 (n=229)	60歳以上 (n=361)
自分だけで、または自分と配偶者だけで暮らしたい	45.0%	54.0%	52.0%	37.7%
子ども世帯の近くに暮らしたい	19.9%	18.6%	17.0%	22.2%
気の合う友人や仲間と一緒に助け合いながら暮らしたい	13.2%	15.0%	17.5%	10.0%
子ども世帯と同居して暮らしたい	10.2%	2.7%	3.5%	16.9%
同じ敷地内にある2世帯住宅で暮らしたい	5.5%	0.9%	6.1%	6.6%
その他	4.3%	3.5%	1.3%	1.9%
無回答	2.0%	5.3%	2.6%	4.7%

注) 全回答者による構成比の高い選択肢から降順で表示

(14) 高齢者の安心な暮らしに必要なこと 複数回答

「高齢者が安心して暮らすために、住まいに必要なこと」について、全回答者の回答では、「医療や介護サービス」が61.6%で最も高く、続いて、「移動や買い物の便利さ」が53.2%、「高齢者向けの住宅設計」が44.5%で続いています。年代別でも特に大きな差異はみられず、おおむね同様の傾向となっています。

年代別 高齢者の安心な暮らしに必要なこと

	全回答者 (n=705)	39歳以下 (n=113)	40～59歳 (n=229)	60歳以上 (n=361)
医療や介護サービス	61.6%	63.7%	62.0%	60.7%
移動や買い物の便利さ	53.2%	63.7%	59.8%	46.0%
高齢者向けの住宅設計	44.5%	45.1%	43.2%	45.4%
災害や犯罪の設備・装置	28.9%	26.5%	28.4%	29.9%
近隣道路の安全さ	17.3%	11.5%	19.2%	18.0%
友人・知人との近さ	16.6%	19.5%	15.7%	16.3%
豊かな自然、静かさ	14.6%	8.8%	12.7%	17.7%
親族との同居または近居	13.0%	17.7%	12.7%	11.9%
趣味やレジャーの気軽さ	9.1%	11.5%	5.7%	10.5%
部屋の広さや間取り、外観の好み	8.5%	4.4%	8.3%	9.7%
ペットとの同居	6.5%	7.1%	9.6%	4.4%
職場からの近さ・適切さ	2.1%	2.7%	3.9%	0.8%
その他	0.7%	1.8%	0.9%	0.3%
特になし	0.9%	1.8%	1.3%	0.3%
無回答	4.5%	1.8%	3.1%	6.1%

注) 全回答者による構成比の高い選択肢から降順で表示

6 住宅施策に対する評価

(1) 住宅・住環境に係る施策の評価 複数回答

ア 住宅施策の改善度

「住宅について、この5年で改善されたと思うもの」については、どの年代においても「若年、子育て世帯が暮らしやすい住宅への支援」が最も高く、続いて、「住宅の耐震診断や耐震改修の支援」が評価されています。

イ 住宅施策の重要度

「住宅について、今後重要だと考えるもの」については、40～59歳と60歳以上では、「高齢者や障がい者等が安心して暮らせる住宅への支援」を重視するなど回答の傾向が比較的近い一方で、39歳以下では、「若い世代の住まい確保や家賃負担軽減への支援」や「住宅の耐震診断や耐震改修の支援」に対する今後の重要度が高いことなど、傾向の違いがみられます。

また、「空き家の有効活用への取り組みの支援」については、どの年代においても重要度が高くなっています。

◆住宅に係る施策への市民評価 《改善度 × 重要度》

項目名	39歳以下		40～59歳		60歳以上	
	改善度	重要度	改善度	重要度	改善度	重要度
若い世代の住まい確保や家賃負担軽減への支援	7.1%	38.9%	9.6%	19.7%	5.5%	16.6%
若年、子育て世帯が暮らしやすい住宅への支援	26.5%	37.2%	21.0%	18.8%	15.8%	15.8%
空き家の有効活用への取り組みの支援	4.4%	28.3%	2.2%	36.2%	2.5%	35.7%
高齢者や障がい者等が安心して暮らせる住宅への支援	5.3%	28.3%	8.7%	49.3%	12.5%	55.7%
住宅の耐震診断や耐震改修の支援	9.7%	28.3%	15.3%	16.6%	14.7%	16.3%
低所得者のための公営住宅の整備	2.7%	21.2%	4.4%	20.1%	5.3%	14.4%
住宅の建設や建替え、改修のための支援	5.3%	21.2%	9.2%	24.5%	7.5%	19.9%
住まいに関するトラブルへの支援	4.4%	15.0%	1.7%	17.5%	5.5%	10.5%
環境に配慮した住宅の整備のための支援	5.3%	10.6%	5.7%	7.4%	5.3%	11.9%
総合的な住宅相談の窓口の設置	6.2%	8.0%	2.6%	9.6%	7.5%	9.7%
コロナ禍における住環境整備への支援	9.7%	8.0%	8.3%	7.0%	5.5%	2.8%
親元への近居や同居のための住宅取得に対する支援	7.1%	7.1%	4.4%	6.6%	3.6%	6.1%
住宅に関する情報提供の充実	5.3%	8.0%	5.2%	5.2%	7.2%	5.3%
その他	3.5%	0.9%	3.5%	0.9%	1.9%	0.8%
マンション管理に対する取り組みの支援	2.7%	0.0%	0.9%	6.1%	1.1%	7.5%
平均	7.0%	17.4%	6.8%	16.4%	6.8%	15.3%

注)「39歳以下」における重要度の回答割合の高い項目から降順で表示

(2) 住環境に係る施策の評価 複数回答

ア 住環境の改善度

「住環境について、この5年で改善されたと思うもの」については、どの年代においても「公園・緑地の整備」、「街灯や防犯カメラ等の防犯対策」が高く評価されています。

イ 住環境の重要度

「住環境について、今後重要だと考えるもの」については、どの年代においても「街灯や防犯カメラ等の防犯対策」が高くなっています。

また、39歳以下では、「子どもを安心して育てられる環境づくり」、40～59歳と60歳以上では、「高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境づくり」の重要度が高くなっています。

◆住環境に係る施策への市民評価 《改善度 × 重要度》

項目名	39歳以下		40～59歳		60歳以上	
	改善度	重要度	改善度	重要度	改善度	重要度
街灯や防犯カメラ等の防犯対策	15.9%	46.9%	16.2%	41.9%	19.9%	35.2%
子どもを安心して育てられる環境づくり	17.7%	31.0%	15.3%	13.5%	13.6%	13.9%
水害などの自然災害の対策	12.4%	26.5%	16.6%	22.7%	10.2%	18.3%
商店街など中心市街地の活性化	13.3%	22.1%	6.1%	22.3%	6.9%	16.1%
生活道路の整備や拡張	14.2%	22.1%	11.8%	14.4%	15.2%	10.8%
高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境づくり	3.5%	21.2%	6.6%	31.9%	11.4%	40.7%
バスなどの公共交通機関の充実	12.4%	15.9%	4.4%	27.1%	13.0%	23.0%
災害時の避難路の確保	3.5%	15.9%	4.4%	11.4%	5.3%	11.6%
空き家・空き地の安全・衛生対策	1.8%	14.2%	2.6%	18.8%	1.7%	24.4%
歩道などの段差解消	10.6%	10.6%	8.7%	18.3%	13.9%	16.9%
公園・緑地の整備	19.5%	9.7%	19.7%	11.4%	16.6%	10.8%
近隣住民での共助や地域の連帯感の構築への支援	0.9%	7.1%	2.2%	9.2%	3.3%	13.9%
住民主体の住まい・まちづくり活動への支援	3.5%	6.2%	3.9%	3.5%	2.5%	6.4%
その他	4.4%	4.4%	2.2%	1.7%	1.1%	0.8%
地域にふさわしいまちなみや景観づくり	4.4%	4.4%	5.2%	7.4%	3.6%	4.7%
市民と行政による住宅施策の協働推進体制の整備	0.0%	3.5%	0.4%	3.5%	1.7%	6.4%
平均	8.6%	16.4%	7.9%	16.2%	8.7%	15.9%

注)「39歳以下」における重要度の回答割合の高い項目から降順で表示